

【表紙】

- 【提出書類】** 有価証券報告書の訂正報告書
- 【根拠条文】** 金融商品取引法第 24 条の 2 第 1 項
- 【提出先】** 関東財務局長
- 【提出日】** 平成 21 年 9 月 8 日
- 【事業年度】** 第 14 期（自 平成 20 年 1 月 1 日 至 平成 20 年 12 月 31 日）
- 【会社名】** エリアリンク株式会社
- 【英訳名】** Arealink Co.,Ltd.
- 【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 林 尚 道
- 【本店の所在の場所】** 東京都千代田区神田小川町三丁目 1 番地
- 【電話番号】** 03 - 5577 - 9222
- 【事務連絡者氏名】** 取締役管理本部長 池 口 孝
- 【最寄りの連絡場所】** 東京都千代田区神田小川町三丁目 1 番地
- 【電話番号】** 03 - 5577 - 9222
- 【事務連絡者氏名】** 取締役管理本部長 池 口 孝
- 【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成 21 年 3 月 30 日に提出いたしました第 14 期(自 平成 20 年 1 月 1 日 至 平成 20 年 12 月 31 日)有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第 1 企業の概況

3 事業の内容

第 2 事業の状況

4 事業等のリスク

(2) 当社グループ自ら不動産を所有することのリスクについて

第 4 提出会社の状況

1 株式等の状況

(6) 大株主の状況

5 役員の状況

第 5 経理の状況

2 財務諸表等

(1) 財務諸表

損益計算書

3 【訂正箇所】

訂正箇所は___を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

3 【事業の内容】

(訂正前)

当社グループは、当社（エリアリンク株式会社）及び、連結子会社2社（株式会社湯原リゾート、カーコム販売株式会社）により構成されております。当社、連結子会社2社は「不動産の再活性」「地域の再活性」を事業コンセプトに、様々な不動産サービス事業を推進しております。

「不動産再生・流動化サービス事業」に区分しておりましたコンテナ、トランク、ウェルズ21等の設置及びコンテナ等商品販売事業（以下、商品販売事業という）について、「不動産運用サービス事業」に変更しております。

これは、受注事業及び商品販売事業は、それ自体の販売及び引渡して完結するものではなく、むしろ「不動産運用サービス事業」で提供する「ハローコンテナ」「ハロートランク」「ハローストレージ」等の商品化と物件の確保に密接に関連することから、「不動産再生・流動化サービス事業」よりも「不動産運用サービス事業」として位置づけることが、当社の事業内容をより適切に反映すると考え変更するものであります。

《略》

(訂正後)

当社グループは、当社（エリアリンク株式会社）及び、連結子会社2社（株式会社湯原リゾート、カーコム販売株式会社）により構成されております。当社、連結子会社2社は「不動産の再活性」「地域の再活性」を事業コンセプトに、様々な不動産サービス事業を推進しております。

(削除)

《略》

第2 【事業の状況】

4 【事業等のリスク】

(2) 当社グループ自ら不動産を所有することのリスクについて

(訂正前)

当社グループが自ら不動産を所有するにあたっては、()希少価値のある物件である、()ネット利回り平均 10%以上、()即収入が見込める物件、()空室ができて当社不動産運用サービス事業のノウハウで効率運用が見込める物件、といった観点で物件を厳選したうえで投資を行っております。また、投資資金を借入で調達する場合、一定の条件(現在、固定金利3%未満、10年返済)を満たすこととしております。

しかしながら、当社グループの潜在需要の見通しが十分ではなかったり、また予見が困難な外部環境の変化により需要が減少する場合、あるいは周辺の賃料相場及び不動産価格相場が急激に変動した場合等には、当社グループの業績及び財政状態に影響を与える可能性があります。

(訂正後)

当社グループが自ら不動産を所有するにあたっては、()希少価値のある物件である、()ネット利回り平均 10%以上、()即収入が見込める物件、()空室ができて当社不動産運用サービス事業のノウハウで効率運用が見込める物件、といった観点で物件を厳選したうえで投資を行っております。また、投資資金を借入で調達する場合、投資の期間に応じた調達を行い、必要に応じて固定金利での調達や金利スワップ等による金利の固定化を実施することで金利上昇リスクの回避に努めております。

しかしながら、当社グループの潜在需要の見通しが十分ではなかったり、また予見が困難な外部環境の変化により需要が減少する場合、あるいは周辺の賃料相場及び不動産価格相場が急激に変動した場合等には、当社グループの業績及び財政状態に影響を与える可能性があります。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(6) 【大株主の状況】

(訂正前)

平成20年12月31日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|--------|-------|--------------|------------------------------------|
| 林 尚道 | 東京都港区 | 237,328 | 23.84 |
| 《略》 | | | |
| 計 | | 508,727 | 51.05 |

(注) 上記のほか当社所有の自己株式30,000株(3.01%)があります。

(訂正後)

平成20年12月31日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|--------|--------|--------------|------------------------------------|
| 林 尚道 | 東京都渋谷区 | 237,328 | 23.84 |
| 《略》 | | | |
| 計 | | 508,727 | 51.05 |

(注) 上記のほか当社所有の自己株式30,000株(3.01%)があります。

5 【役員の状況】

(訂正前)

| 役名 | 職名 | 氏名 | 生年月日 | 略歴 | 任期 | 所有株式数 (株) |
|-----|----|------|------------|---|------|--------------|
| 《略》 | | | | | | |
| 取締役 | | 七海秀之 | 昭和43年3月24日 | 平成2年4月 チェースマンハットン銀行入行 平成12年1月 (株)アイアールギャラクシーイン ク代表取締役就任(現任) 平成12年4月 モーニングスター(株)代表取締役就 任 平成17年1月 ガーディアンレップス(株)代表取締 役就任(現任) 平成17年2月 (株)ディレクト・アスリーツ代表取 締役就任 平成19年2月 メディカルエージェント(株)代表取 締役就任(現任) (他の法人等の代表状況) (株)アイアールギャラクシーイン ク代表取締役 ガーディアンレップス(株)代表取締 役 平成21年3月 メディカルエージェント(株)代表取 締役 当社取締役就任(現任) | (注)3 | - |
| 《略》 | | | | | | |

(訂正後)

| 役名 | 職名 | 氏名 | 生年月日 | 略歴 | 任期 | 所有株式数 (株) |
|-----|----|------|------------------|---|-------|--------------|
| 《略》 | | | | | | |
| 取締役 | | 七海秀之 | 昭和 43 年 3 月 24 日 | 平成 2 年 4 月 チェースマンハットン銀行入行 平成 12 年 1 月 ㈱アイアールギャラクシーイン ク代表取締役就任(現任) 平成 12 年 4 月 モーニングスター㈱代表取締役就 任 平成 17 年 1 月 ガーディアンレップス㈱代表取締 役就任(現任) 平成 17 年 2 月 ㈱ディレクト・アスリーツ代表取 締役就任 平成 19 年 2 月 メディカルエージェント㈱代表取 締役就任(現任) (他の法人等の代表状況) ㈱アイアールギャラクシーイン ク代表取締役 ガーディアンレップス㈱代表取締 役 メディカルエージェント㈱代表取 締役 平成 21 年 3 月 当社取締役就任(現任) | (注) 3 | - |
| 《略》 | | | | | | |

第5 【経理の状況】

2 【財務諸表等】

(1) 【財務諸表】

【損益計算書】

(訂正前)

| 区分 | 注記 番号 | 第13期 (自 平成19年1月1日 至 平成19年12月31日) | | | 第14期 (自 平成20年1月1日 至 平成20年12月31日) | | |
|-------------|----------|--|-----------|------------|--|-----------|------------|
| | | 金額(千円) | | 百分比 (%) | 金額(千円) | | 百分比 (%) |
| 《略》 | | | | | | | |
| 特別損失 | | | | | | | |
| 《略》 | | | | | | | |
| 8 たな卸資産売却損 | | - | | | 3,150,821 | | |
| 9 減損損失 | 6 | - | | | 723,374 | | |
| 10 移転関連費用 | | - | | | 96,935 | | |
| 11 貸倒引当金繰入額 | | - | | | 1,413,649 | | |
| 12 損害賠償金 | | - | | | 86,974 | | |
| 13 その他 | | 110,883 | 1,047,218 | 3.5 | 18,165 | 7,286,693 | 44.6 |
| 《略》 | | | | | | | |

(訂正後)

| 区分 | 注記 番号 | 第13期 (自 平成19年1月1日 至 平成19年12月31日) | | | 第14期 (自 平成20年1月1日 至 平成20年12月31日) | | |
|-------------|----------|--|-----------|------------|--|-----------|------------|
| | | 金額(千円) | | 百分比 (%) | 金額(千円) | | 百分比 (%) |
| 《略》 | | | | | | | |
| 特別損失 | | | | | | | |
| 《略》 | | | | | | | |
| 8 たな卸資産評価損 | | - | | | 3,150,821 | | |
| 9 減損損失 | 6 | - | | | 723,374 | | |
| 10 移転関連費用 | | - | | | 96,935 | | |
| 11 貸倒引当金繰入額 | | - | | | 1,413,649 | | |
| 12 損害賠償金 | | - | | | 86,974 | | |
| 13 その他 | | 110,883 | 1,047,218 | 3.5 | 18,165 | 7,286,693 | 44.6 |
| 《略》 | | | | | | | |